

平成26年度  
事業計画書

平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで

公益財団法人 立山カルデラ砂防博物館

## 1 基本方針

- (1) 「立山カルデラの自然と歴史」及び「砂防」の二つのテーマを、「知られざるもうひとつの立山」と位置付け、博物館活動を通して広く紹介する事業を積極的に展開する。
- (2) 「立山・黒部」世界文化遺産登録へ向けて博物館の視点から積極的な情報発信を行う。
- (3) 立山黒部アルペンルートの玄関口に立地することから、要望が多い立山の風土を紹介する展示等の事業を行う。

## 2 展示事業

### (1) 常設展示

立山カルデラの自然と歴史及び砂防を体系的に展示・紹介する。団体客に対しては、学芸員等が来館目的に沿った解説を行う。

#### ①大型映像ホール

3D映像投影 「立山カルデラ 大地のドラマ」、「崩れ」

#### ②立山カルデラ展示室

立山カルデラや立山の自然と歴史を展示

#### ③SABO 展示室

立山カルデラの砂防事業を展示

#### ④砂防展示コーナー

世界文化遺産登録に向けて白岩砂防えん堤等を紹介

### (2) 企画展、特別展

#### ①特別展「立山へ行こう！ーより楽しむコツ、博物館が教えますー」

4月15日（火）～7月13日（日）

学芸員の視点から、立山黒部アルペンルート沿いの地形、火山、動植物等のおきのおきの観察ポイントを詳しく紹介。

#### ②富山県近代美術館巡回展

4月19日（土）～5月25日（日）

富山県立近代美術館所蔵の立山や自然にちなんだ秀作を立山登山口の当館で紹介。

#### ③土砂災害防止月間特別展「火山巡回展 霧島火山」

5月31日（土）～7月13日（日）

火山系博物館ネットワークの巡回展として、日本の代表的火山とそこで起きた土砂災害を紹介し、火山の恵みと災害について考える。

④特別展「黎明期の立山カルデラの砂防えん堤ー県営砂防の取り組みー」

5月31日（土）～7月13日（日）

立山カルデラで、砂防黎明期に富山県により作られた石積み砂防えん堤の概要と、その歴史的価値について、パネル等で紹介。

⑤企画展「立山登山ー山岳の魅力とリスクを考えるー」（仮題）

7月19日（土）～9月28日（日）

登山には多くの魅力とともに危険が存在する。近年立山で増加している遭難防止のためには、山岳の自然と危険を理解し対処法を身につけることが必要である。国立登山研修所と連携して、立山登山における自然の魅力と危険を紹介し、登山の振興と遭難防止の一助とする。

⑥特別展「立山温泉をめぐる人々と歴史」

10月4日（土）～12月27日（土）

険峻な山岳にありながら、江戸時代より交通の拠点として賑わってきた立山温泉について、そこを訪れた人々をたどりながらその歴史を探る。

⑦写真展「素晴らしい自然を」

1月10日（土）～2月11日（水）

日頃から自然に接している人々が感じた自然の素晴らしさや大切さを表現した写真を紹介。

⑧特別展「映像でみる立山・立山カルデラ・砂防」

2月14日（土）～3月8日（日）

大災害をもたらす自然現象をとらえた貴重な映像や、土砂災害防止のため日々行われている砂防事業に関する映像を紹介。

⑨公募写真展「レンズが見た立山・立山カルデラー大地と人の記憶ー」

3月14日（土）～4月12日（日）

立山や立山カルデラ、常願寺川一帯の大地や人の営みをテーマに、魅力ある作品を公募して紹介。

### 3 立山カルデラ砂防体験学習会

博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然や歴史、砂防事業について体験しながら理解を深めてもらう体験学習会を、国土交通省立山砂防事務所の協力を得て実施する。

H25より実施している、砂防の背景である常願寺川流域全体の特徴的な自然、過去に起きた災害や砂防工事の歴史等を組み合わせ、流域全体として世界文化遺産登録を理解してもらうコースを、継続して実施する。

- (1)実施時期 7月～10月
- (2)実施回数 48回
  - ①トロッココース 31回（個人14回、 トロッコ団体17回）
  - ②バスコース 15回（バス6回、 文化遺産6回、常願寺川下流3回）
  - ③バスコース（団体専用） 2回
- (3)解説員 富山県砂防ボランティア協会、立山砂防スペシャルエンジニア、博物館ボランティア解説員

#### 4 「立山・黒部」世界文化遺産登録に向けての情報発信

- (1) 大型映像装置（103インチ）による映像「立山・黒部 世界遺産に向けて」をエントランスホールにおいて常時放映
- (2) 常願寺川流域全体の世界的に見ても特色ある自然・歴史・砂防の事象について、博物館の視点から総合的に解説した冊子「常願寺川の自然と人」を配付
- (3) 世界文化遺産登録に向けて白岩砂防えん堤等を2階に常設展示コーナーを設けて常時紹介
- (4) 「『立山・黒部』を誇りとし世界に発信する県民の会」との連携による講演会等の実施
- (5) 立山カルデラや砂防を解説した「立山カルデラたんけんブック」を小学生に配付

#### 5 普及事業

- (1) 学校行事における児童生徒の利用促進

飛越大地震やその影響による常願寺川流域における土砂災害を克服してきた先人達の努力・砂防事業等を、児童生徒に学んでもらうため、総合学習等による博物館への来館を積極的に勧誘する。

学芸員が来館のニーズに応じたきめの細かいガイダンスを行うとともに、学校関係者が来館するに際し必要な情報を入手しやすくするため、ホームページに学校関係者のページを設ける。

- (2) 解説ボランティアの配置

博物館の展示について、来館者により理解を深めてもらうため、繁忙期の土・日・祝日は、解説ボランティアが館内の展示等に対する説明を行う。

- (3) フィールドウォッチング

- ①春の立山・雪の大谷 5月11日（日）

「雪の壁」を実際に訪れ、世界的な雪の量を体感しそこに秘められた情報を探る。

- ②材木坂と美女平 6月29日（日）

立山禅定道である材木坂を美女平までたどり、独特の地質や植物について観察。

- ③立山の氷河眺望 8月23日（土）

雄山の登山道をたどりながら氷河遺跡をめぐり日本で唯一の氷河を眺望。

- ④室堂山・浄土山とカルデラ展望 9月 6日(土)  
浄土山への登山道をたどりながら、立山の生い立ちや大地の変遷について観察。
- ⑤秋の弥陀ヶ原とカルデラ展望 10月 4日(土)  
弥陀ヶ原を散策しながら、地質地形や動植物、立山カルデラについて観察。
- ⑥秋の有峰と常願寺川砂防治水探訪 10月19日(日)  
常願寺川をたどりながら、断層や動植物、大転石、砂防治水施設等を見学。
- ⑦立山の雪を体験しよう 1月31日(土)、2月8日(日)  
雪について学んでから野外でかんじきハイクをして思いきり雪を体験。

(4) 防災講演会

6月(土砂災害防止月間特別講演会)

(5) 移動博物館

①県民生涯学習カレッジ講座の開設

連携講座「もう一つの立山 立山カルデラ」を開催する。

②市民大学講座、地域公民館等との連携

市民大学や地域公民館等に学芸員が講師として出向き、「立山火山」、「地震と活断層」、「立山カルデラの動物」などの専門的な解説を実施する。

③立山砂防事務所との連携

立山砂防探検隊、砂防体験楽校 等の実施

④富山県砂防課との連携(土砂災害防止月間イベント)

砂防フェア2014

6月上旬

子ども砂防教室

6月上旬から下旬

⑤地元団体との連携

立山夏山開き「立山・称名滝の祭典」(立山町)、とやまスノーピアード立山山麓「雪の祭典」(富山市)、への参加

(6) サイエンスショーの開催

8月上旬

(7) 国際世界遺産セミナーへの協力

(8) 「博物館だより」等の発行

博物館だより(年3回)、イベントガイド(年1回)、ポスター(年1回)、イベントニュース(毎月)

(9) 博物館実習、教員研修、十四歳の挑戦事業 等の受入れ

## 6 調査研究・資料収集

- (1) 立山連峰における氷河探究調査  
氷体がいつ頃からどのように形成維持されてきたかを解明し、立山氷河の独自性を明らかにする。
- (2) 立山カルデラの自然と歴史、砂防に関する調査研究
- (3) 立山カルデラの自然と歴史、砂防に関する資料収集
- (4) 立山カルデラの自然と歴史、砂防に関する図書の収集

## 7 博物館友の会

- (1) 会員参加行事の充実（立山カルデラ砂防体験学習会、類似施設見学会、等）
- (2) 友の会だよりの発行
- (3) ホームページの運用